

「物流は人なり」

挑み続ける物流のリーディングカンパニー

近畿日本鉄道業務局として1948年に創業し、世界各国に拠点を持つ近鉄エクスプレス。89年にASEANのハブとなるタイの地に現地法人KWE-Kintetsu World Express (Thailand) Co., Ltd.を設立。2015年には、トランスパシフィックイーストバンド（太平洋側のアジア、北米向け航路）の強化・物量拡大を掲げ貨物輸送サービス「バンコクゲートウェイ」を開始。安定した価格と質の良いサービスを実現し高い評価を得ている。その根底には同社が掲げる「物流は人なり」という強い信念があった。さらなる営業力・サービス・品質の向上で確かな躍進を目指す。

輸送計画の立案から梱包、倉庫、航空・海上輸送、国内輸送からクロスボーダー（国境）事業までをワンストップで請け負い、物流改善を目に見えるカタチとして提供し続けているのが同社だ。タイ国内だけでも従業員は1400人以上。日系企業が多く入居するバンコク北部アユタヤ近郊や、東部チョンブリ、プラチンブリなどに計20の倉庫を構える。これを東南アジア全域に広げると、KWEグループとして拠点数は113、倉庫だけでも56カ所となるというから、その規模は圧倒的だ。

自動車部品や電気・電子業界など製造メーカーにとって生産後に最も頭を悩ますのが輸送コスト。小規模企業であれば経営に直撃す

るだけになおのことだ。それを抜本から解決したのが前出の「バンコクゲートウェイ」だった。これにより顧客企業は安心して生産・開発に取り組むことができるようになった。産業の基礎を支える物流の真骨頂がここにあった。

こうした高品質なサービスを支えているのが同社の従業員教育だ。離職率の極めて高い業界で、常時1000人を超える従業員を維持できる職場はそうはない。昨年から採り入れた人事評価制度「スタープロジェクト」は、従来の定時昇任昇給を改め、適時の人事評価を進める仕組み。「目標が明確となり、社員のモチベーション向上にも役立っている」と谷康行社長は胸を張る。



新たな事業の掘り起こしを進める「TSIプロジェクト」も効果を生み始めている。従来の自動車、電機などの輸送等にとどまらないヘルスケア、医療、農産品、食品、各種イベントといった新しい事業分野の開拓。現地スタッフを中心にマーケティングを行い、これまでの枠に捕らわれない需要発掘を目指している。

タイを中心に地の利を活かしたクロスボーダー輸送にも力を入れていく方針だ。ニーズは着実に広がっており、すでに専属部門を設置。カンボジア国境に近いプラチンブリ地区に第2自社倉庫を建設して、市場の期待に応えていきたいとしている。

プラチンブリ第2倉庫



- + ロジャナ・プラチンブリ工業団地内に第2ロジスティクスセンターを建設。2017年12月稼働開始予定。
- + コンテナデポ、梱包工場、集配センター、倉庫機能を持たせた総合物流センターとなっており高品質なワンストップサービスを提供。

クロスボーダートラック



- + 複数荷送人の貨物を混載輸送するMerge In Transitサービス
- + 通関料金・輸送費の低減
- + 低価格・高品質サービスの実現

バンコクゲートウェイサービス



- + 東南アジアの荷物をバンコクへ集約し、アメリカへ一括輸送
- + 年間契約にて貨物便を確保し、スペースを安定供給。
- + 大量一括輸送によるコスト低減

海上輸送 日本向けサービス



- + 本船到着前に通関を開始することで、事前に納品スケジュールを確定することが可能
- + 事前に貨物検査かどうかのわかり、トラック・ドレーのキャンセル料等、無駄な費用の発生を防止



KWE-Kintetsu World Express (Thailand) Co., Ltd.

〒 99 Ladprao Soi 28, Ratchadaphisek Rd., Chankasem, Chatuchak, Bangkok 10900
 ☎ 02-792-5999 👤 林田 (JP/EN) ☎ 089-927-2571 ✉ yosuke.hayashida@kwe.com
 🌐 www.kwe.co.th